

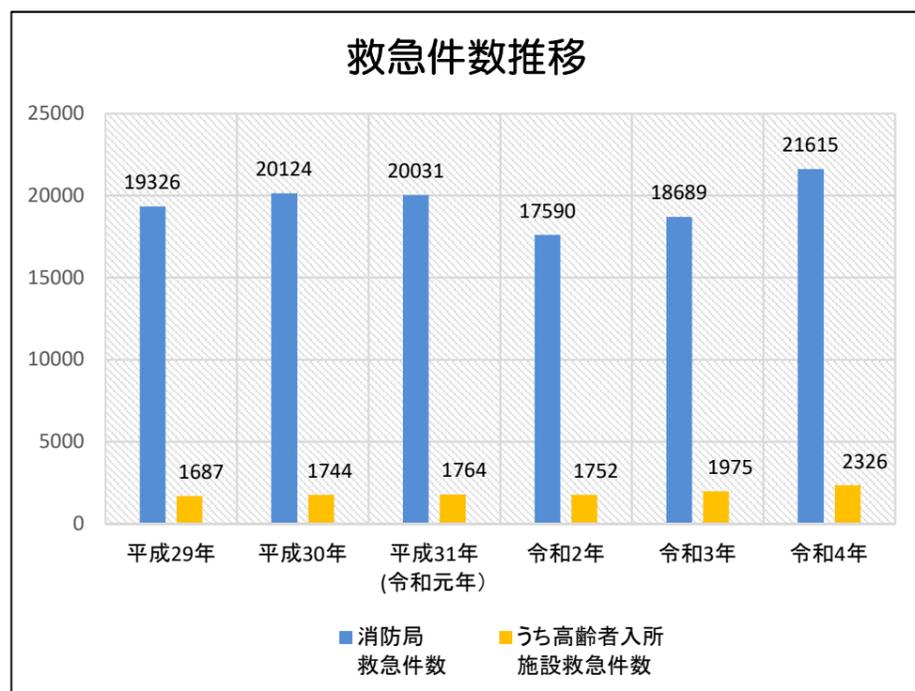
【参考資料】

作成日：令和5年4月
高崎市等広域消防局提供資料

高齢者入所施設 救急搬送データ（高崎市等広域消防局管内）

A：消防局・高齢者入所施設の救急件数です。

年 (12月～1月)	消防局 救急件数	うち高齢者入所 施設救急件数
平成29年	19326	1687
平成30年	20124	1744
平成31年(令和元年)	20031	1764
令和2年	17590	1752
令和3年	18689	1975
令和4年	21615	2326



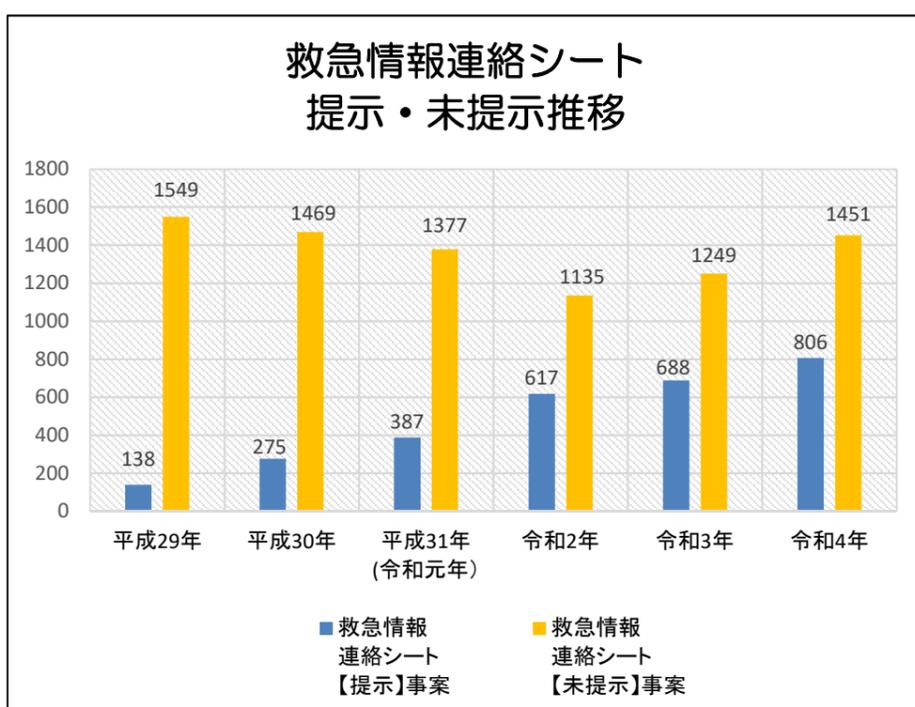
高齢者入所施設救急件数には、
不搬送件数（各年約2～3%）
も含まれます。

不搬送の主な理由（多い順）

- ①施設の理由（傷病者の状態が回復した事によるキャンセルや傷病者の拒否で搬送に至らなかったものなど。）
- ②コロナ関連（保健所又は調整センターの判断での引き上げ。）
- ③消防側の理由（現場に近い別の救急車の出動、呼吸なしなどの重症が予想される場合で出動した救急車に救急救命士が不在で、救命救急士が乗っている別の救急車を応援要請した場合。）
- ④火災（火災や自動火災報知設備の鳴動などで出動したが、負傷者がいない場合。）
- ⑤搬送対象外（心肺停止状態で臨場した医師の死亡診断が行われた場合や、死体現象があり警察に引き継いだもの。）

B-1：* 高齢者入所施設救急件数のうち、救急情報連絡シート提示、未提示件数です。
* 救急情報連絡シート導入は、平成28年8月です。

年 (12月～1月)	救急情報 連絡シート 【提示】事案	救急情報 連絡シート 【未提示】事案
平成29年	138	1549
平成30年	275	1469
平成31年(令和元年)	387	1377
令和2年	617	1135
令和3年	688	1249
令和4年	806	1451



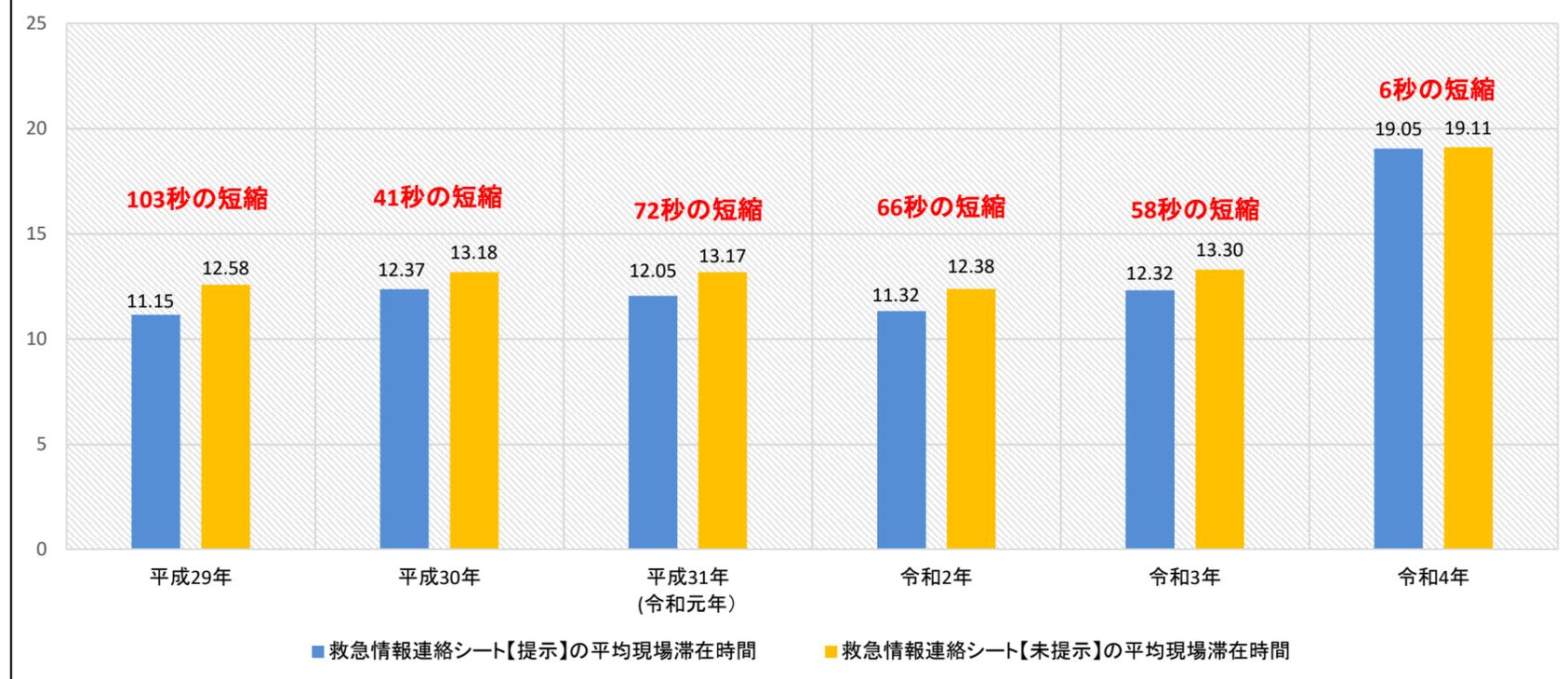
救急情報連絡シートの提示率は年々上がっています。令和2年以降の提示率は35%を超え、施設従事者のご協力のおかげです。
今後もスムーズな連携の手段として、提示のご協力をお願いします。

B-2：救急情報連絡シート提示、未提示の平均現場滞在時間です。

年 (12月～1月)	救急情報連絡シート【提示】の平均現場滞在時間	救急情報連絡シート【未提示】の平均現場滞在時間	提示による時間短縮
平成29年	11分15秒	12分58秒	103秒
平成30年	12分37秒	13分18秒	41秒
平成31年(令和元年)	12分05秒	13分17秒	72秒
令和2年	11分32秒	12分38秒	66秒
令和3年	12分32秒	13分30秒	58秒
令和4年	19分05秒	19分11秒	6秒



連絡シート提示・未提示平均滞在時間推移
提示による短縮時間推移



救急情報連絡シートの提示による時間短縮について

令和4年度は新型コロナの影響で全体的に病院決定までの時間が伸びているため明らかな時間短縮はみられていません。

しかしながら、情報連絡シートには、救急隊が病院連絡時に必要となる情報がほとんど含まれています（氏名、年齢、普段のADL、傷病者の病歴、通院している病院、バイタルサイン等）。

新型コロナが5月に5類になると、少しずつ以前のように現場活動時間が短くなっていくと思われれますので、スムーズな病院連絡に繋がると考えられます。

消防庁資料より下記文書引用

人生の最終段階を迎える準備を適切に進めることで、関係者が慌てたり、関係者間での情報共有が不足することなどによる、避けることのできる救急要請を減らすこともまた重要である。

地域包括ケアシステムの構築が進む中、患者本人や家族等がどのような最期を迎えたいか考え、かかりつけ医等を要とする医療従事者、介護従事者とも話し合い、準備を進める、ACPに取り組んでいくことが重要である。

